

バルナバ：代価を伴う励まし

バルナバはパウロと初期の宣教をどのように助けましたか。

バルナバは、ほかの人々がパウロを恐れていたときに彼を迎え、アンティオキアでの働きへ招き、共に旅をしました。使徒言行録は、その寛大さと励ましを重大な対立と共に描きます。読者は、彼を無欠点の人にせず、その奉仕を尊ぶことができます。

かつての敵を迎える

使徒言行録は初めに、バルナバをキプロス出身のレビ人ヨセフとして紹介し、畑の売却代金を共同体に献げたと記します。後には、信徒が以前の迫害者を恐れているとき、使徒たちの前でサウロを弁護します。この歓迎は、サウロの変った生き方についての証言に結び付いています。バルナバが示すのは寛大さと識別を伴う支援であり、霊的变化を主張する人を無条件に信じることではありません。

聖書の参照箇所: 使徒言行録 4章36～37節・使徒言行録 9章26～30節
出典: acts

アンティオキアを力づけ、旅立つ

アンティオキアへ送られたバルナバは神の恵みを認め、信仰を保つよう励まします。タルソスへサウロを探しに行き、継続的に教える働きへ招きます。やがてアンティオキアの共同体は二人を共に送り出します。旅では歓迎も迫害も受け、リストラでは自分たちに向けられた礼拝を拒みます。宣教は、使者を売り込むのではなく、生ける神へ人々を招く働きです。

聖書の参照箇所: 使徒言行録 11章19～26節・使徒言行録 13章1～3節・使徒言行録 14章8～18節
出典: acts

対立があっても忠実さを消さない

ガラテヤの信徒への手紙は、アンティオキアで異邦人との食卓の交わりから退く行動に、バルナバも引き込まれたと伝えます。使徒言行録は後に、ヨハネ・マルコを連れて行くかどうかでパウロと激しく対立し、別々に旅したことを記します。どちらからも、永続的な敵意の物語を作ってはいけません。二人の物語は、誠実な訂正と協力者の忍耐強い育成を促し、福音を指導者個人の評判より大切にするよう教えます。

聖書の参照箇所: ガラテヤの信徒への手紙 2章11～14節・使徒言行録 15章36～41節

出典: letters, acts

出典

- [acts] Acts 7-28; passage references are supplied in each section. <https://ebible.org/web/ACT.htm>
- [letters] Romans through Philemon; passage references are supplied in each section. <https://ebible.org/web/>

独自に制作した本文と画像：CC BY 4.0。聖書本文と第三者の素材は対象外です。

Pauline Letters・CC BY 4.0・<https://paulineletters.com/ja/explore/resources/barnabas>